

# 地域支援部だより

No.5 地域支援部

平成28年2月23日 発行

今回の地域支援だよりでは、冬休み中に行われた2回の開放講座について、それぞれの概要をお伝えします。

## 開放講座Ⅳ「特別支援教育の視点を取り入れたユニバーサルデザイン授業」

12月24日、本校体育館を会場に、開放講座Ⅳを実施しました。講師に、岐阜市立岐阜特別支援学校教諭、神山忠さんをお招きしました。神山さんは、御自身に学習障害の特性があり、学齢期に学習上の困難だけでなく、いじめ、非行、不登校などを経験されたことを現在の教師生活に生かし、勤務をされています。神山先生御自身の生い立ちや御経験から、学習障害等への理解を深め、多くの具体的な対応策を学ばせてもらいました。講話の概要を紹介します。

※ユニバーサルデザインとは、特別な誰かにはではなく、誰にでも使えるという意味です。配慮を必要とする児童生徒には「ないと困る支援」で、他の児童生徒にも「有効な支援」です。この考えを授業づくりの中に取り入れ、すべての児童生徒が分かりやすい授業のことを「ユニバーサルデザイン授業」といいます。



### ○学齢期の辛い経験

どこでつまづいているか分かってもらえず・・・バカだバカだと言われ、人の2倍も3倍も時間をかけて努力しているのに・・・努力が足りないと言われ、勉強ができないと、上手く答えられないと・・・感じる心がない！

～自分は生まれてくるべきでなかったのでは、生きていく意味はあるのだろうか～

いろいろな個性があっていい！



### ○支援の第一歩 ～「種」を育てる～

大人は本人のためと称して、本人に合っていないことを強要してはいないだろうか。いい子ではなく、都合のいい子になってほしいと願っているのではないかな。



高く買ってもらえるメロンになってほしいと思い、

トマトにメロンの肥料を与えメロンの温室に入れて育てられたトマトはどうなるだろう・・・

これって幸せ？トマトはトマトの生き方が出来ることが幸せではないかな？

トマトにしかできないジュースやケチャップになれたら幸せであり、

無理にメロンになるより価値のあることじゃないかな？



大人の役割は、メロン、トマト、キュウリ・・・どんな種を持っているのか察知すること、その種が育つ環境を整え、種同士が認め合えるようにすること。毒を与えたら育たなくなってしまふ。種に合わせた、たくさんの栄養（愛情）を与えていくことが大切。

誰に対しても「生まれてきてくれてありがとう」「生きていてくれてありがとう」「出会ってくれてありがとう」と受け止め、いろいろな見え方、覚え方、理解の仕方があることを知って、いろんなタイプの間がいていいと心から思い、「あなたはあなたのままでいいんだよ」「あなたはこんな良いところがあるでしょ」と認めることが、支援の第一歩になる。

# 開放講座V「アンガーマネージメント～キレやすい子の理解と対応～」

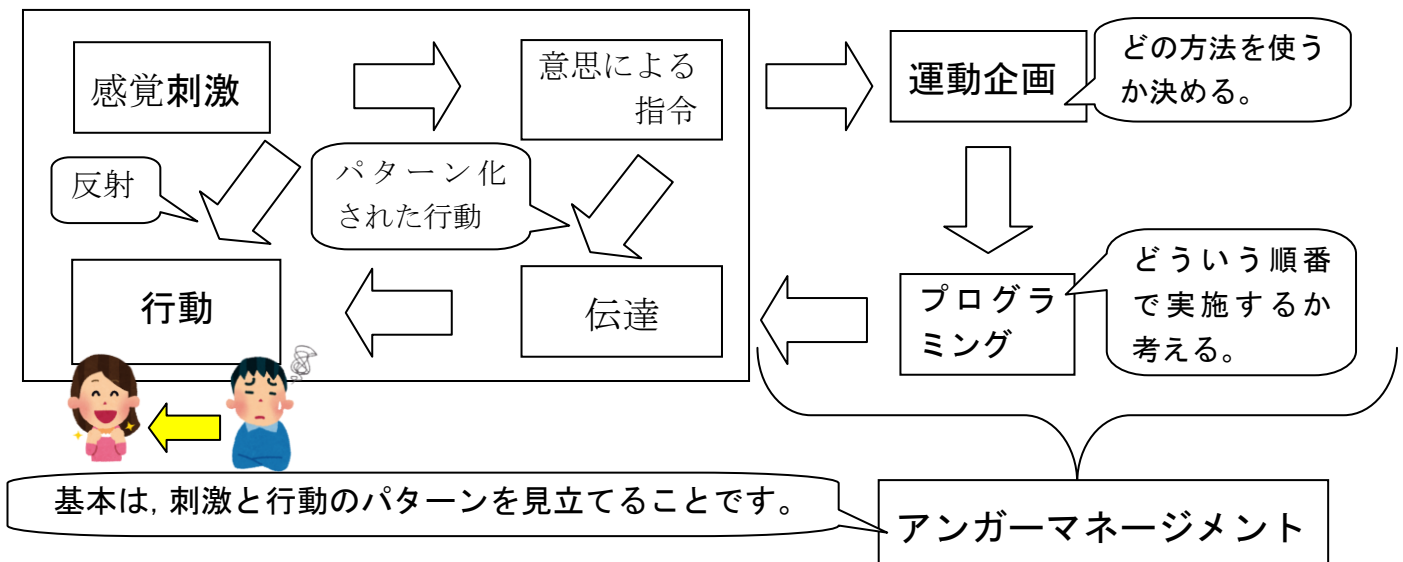
1月6日、本校体育館を会場に実施した今年度最後の開放講座Vには、これまでで最多の200名の方に参加していただきました。講師には、早稲田大学教授の本田恵子さんをお招きしました。本田さんは、いじめ、非行、発達障害などが生じる背景を包括的にとらえ、問題が生じる前の啓発教育や危機介入と問題行動を繰り返す方への個別支援プログラムの開発、実践などを行っています。様々な具体例を挙げて説明していただき、これまでの対応の仕方を見直す良い機会になりました。

## ○アンガーとは

いわゆるキレた（感情の自然な流れが切れてしまう、人間関係を断ち切ってしまう）状態のこと。様々な感情が入り乱れた混沌とした状態で、自分が誰にどんな気持ちがあるのかが分けられない。また、自分の感情と周囲の感情を分けられないため、巻き込まれやすく、周囲を巻き込みやすくなってしまいます。

## ○アンガーマネージメントの進め方

時間をかけて、対象者の物事のとらえ方（下の図で「運動企画」、「プログラミング」と表記している部分）を変え、正しい感情の表現方法を教えていく。



## ○子どもが苛立っているときにやってはいけないこと

### ★事実を確認しない前に決めつける。

「あなた、～してしまったんだって？」 → 「何があったの？」

### ★自分の感情で相手を非難する。

「なんでそうなるの？」 → 「次はがんばってほしいな。」

### ★物事を否定的に関連付ける。

「来ないならご飯片付けるよ。」 → 「今来たらスープあったかいよ。」

### ★本当の気持ちと反対のことを言う。

「勝手にしなさい。」 → 「そうか。がんばってほしいんだけどな。」

### ★言い訳する。

「あなたが～するから、こうなった。」 → 「もう一度説明しますね。」

### ★自分の経験で問題解決をしてしまう。

「それは、こうやるんだよ。」 → 「どこを変えるといいかな？」

### ★肯定してから、否定する。

「いいよ、でもこれはダメ。」 → 「いいよ、ここをこうしてみたらもっとよくなるんじゃないかな。」

